フォトラリー　～ビリケンさんをさがしてみよう！～

流山市には４体のビリケンさんがいます。それぞれの歴史を学んで、実物を見に行こう！

★ビリケンさんって？

アメリカで作られた幸福の神様で、足をなでると幸せになると言われています。

★なぜ流山に？

明治 23（1890）年、利根川と江戸川をむすんで船の行き来を便利にするため、利根運河がつくられました。その利根運河を経営する会社の森田繁男さんが、利根運河の観光名物として大正２（1913）年につくったのが流山のビリケンさんです。

写真を撮ってここに貼ろう！

①博物館　（開館時間 9:30～17:00／月曜休館）

初代のビリケンさんは博物館にいます。もともと利根運河沿いの運河橋の近くに置かれていましたが、平成 30（2018）年にこわされてしまったので修復され、博物館に置かれるようになりました。

どんな色をしているかな？　何でできているかな？　〔　　〕

背中側には何があるかな？　見てみよう！　〔　　〕

写真を撮ってここに貼ろう！

②利根運河（運河橋近く・北岸）

初代の代わりに置くため、観光協会が寄附をよびかけてつくったのが二代目のビリケンさんです。運河橋近くのほこらにいます。

どんな色をしているかな？　〔　　〕

③流山おおたかの森駅前観光情報センター

（開館時間 9:00～17:00）

二代目のビリケンさんができるまでのあいだ、運河橋近くのほこらの留守番として大阪からやってきたビリケンさんです。令和３（2021）年、流山おおたかの森駅前観光情報センターに引っ越しをしました。

どんな色をしているかな？　〔　　〕

④観光協会

（市役所第２庁舎３階／平日 8:30～17:15）

イベントに出張するとき用のビリケンさんです。二代目と同時につくられました。ふだんは流山市観光協会（流山市役所内）にいます。

写真を撮ってここに貼ろう！